

海老名市立杉本小学校 学校運営協議会 議事録
(令和7年度 第2回)

- 1 日時 令和7年9月19日(金) 10:00～12:05
- 2 場所 海老名市立杉本小学校 校長室
- 3 出席委員 瀧澤美穂子委員長、河村治副委員長、藤吉ひとみ委員、鈴木亜矢委員、高橋裕之委員、奥泉憲校長、前田潤子教頭、鈴木幹央総括教諭
- 4 会議の内容
 - (1) 学校長挨拶
奥泉校長：今日は子どもたちの様子をよく見ていただきたい。先生も指導を頑張っている。
 - (2) 委員長挨拶 瀧澤委員長
瀧澤委員長：基礎体力はパフォーマンスにかかわる。学校も体力向上に取り組んでほしい。
 - (3) インクルーシブ教育について
奥泉校長：昨日、臨時インクルーシブ会議を行った。児童にとってよりよい環境とは何かを追求していきたい。また、通常級の担任が特別支援級に入る取り組みも進めていきたい。さらに、保護者に学校の取り組みを伝えていきたい。
河村委員：取り組みを進めるのに様々な課題がある。例えば、通常級児童の保護者の気持ち。インクルーシブを推進した際の児童への影響について心配になる保護者もいるかもしれない。何をねらいとして推進していくのかがわかりやすく保護者に伝わるとよい。
奥泉校長：保護者も教職員も大人の意識を変えていきたい。ご近所ネットを設立して杉本学区は自治会のイメージを変えた。それにならって、学校のイメージを変えていきたい。
高橋委員：会社インクルーシブをどう取り入れるかを考えていた。スケジュールボードをグッドノートに変えて(デジタル化)問題点を皆で共有できるようになり、担当が孤立しなくなった。
自治会という名前を変えただけで、イメージも変わり、制約もなくなったが、いきなりの変化は軋轢が生まれる。
柏中花いっぱい運動に参加していた妻が、子どもの姿が見えるのが楽しいと言っていた。

瀧澤委員長：保護者は学校に関わりたいという思いはもっていると思う。その一歩を学校がつくっていくとよい。自由参観よりも、児童と保護者が共に活動するかかわりがあると保護者は参加しやすい。

～授業参観～

（４）児童の生活（学力状況調査結果）について

奥泉校長：本校の児童は、「自分にはよいところがある」と感じている児童が多い。
鈴木委員：その気持ちを育てることがなかなか難しい。すばらしいことだと感じる。

（５）地域連携について

前田教頭：高齢者とのかかわりをもつ授業を展開したい。その第一段階として高齢者も学校で学ぶ場を学校公開時を利用してつくりたい。周知方法についてご意見いただきたい。
各委員より：社会福祉協議会のサロン、マンションや自治会の掲示板、回覧版、散歩中の人が見られるような学校のフェンスや北部公園の掲示を活用するとよい。

（６）ふれあい広場について

鈴木総括教諭：餅の持ち帰りは児童の下校時間を考えてなくなった。
今年度もご協力お願いします。

（７）学校評価アンケートについて

前田教頭：内容を一部訂正した。ご意見があれば、次回にいただきたい。

（８）連絡

次回の学校運営協議会は、令和７年１１月１０日（月）１３：３０から日時を変更して開催予定。